

# Google Workspace™ 向けの 包括的なバックアップ

Google Workspace (旧 G Suite) のすべてのデータに対するデータ保護

## 利点

OpenText Core Cloud-to-Cloud Backup による Google Workspace と共有ドライブデータのセキュリティ保護

- あらゆるストレージへの自動 / オンデマンドバックアップにより、すべての Google データを包括的に保護。
- ダウンタイムコストの削減とシームレスなビジネス継続性を実現するための迅速なリカバリ実装。
- 無制限の AWS S3 バックアップと任意の時点からのリカバリによる、Google Workspace データのセキュリティ保護。
- 暗号化された安全な不変バックアップにより、GDPR、HIPAA、FINRA、CCPA へのコンプライアンスを容易化。
- AWS 上のセカンダリーコピーと Amazon Glacier™ 上のターシャリーコピーを使用して、3-2-1 バックアップ戦略をサポート。
- 場所を問わずセルフサービスリカバリにアクセスし、ポイントインタイム、きめ細かなクロスユーザー復元、無制限の保存を使用して、データを確実に復元。
- ローカルアクセス用にアーカイブされたデータを ZIP 形式でエクスポート、または独自の S3、Azure、Box™、Dropbox™ ストレージにエクスポートして、データの制御を再利用。

Google Workspace は人的ミス、悪意のある行為、サービス停止、同期エラー、ハッカー、マルウェアなどに起因するデータ損失からユーザーを保護することはできません。

## 損失データの復元に関する責任はユーザーにある

ユーザーのデータは Google によってホストされていますが、セキュリティ上の脅威や偶発的な削除に備えてビジネスデータの制御と保護を維持する責任は、最終的にはユーザー企業にあります。

Google Workspace には、日次バックアップとアーカイブプロセスがありません。主に **e ディスカバリ用であり、シームレスなリカバリを提供しない Google Vault™** のようなネイティブオプションは、(既存データを上書きするという)破壊的なものであり、追加コストが発生します。さらに、手動または自動でデータがごみ箱から削除されると、そのデータは完全に失われます。

## Google Workspace をプロアクティブに保護

SaaS アプリケーションの SLA を明確に理解していない企業では、データが脆弱なままになっています。多くのリモートワーカーが生産性を維持するために利用しているコラボレーションおよび生産性向上アプリは、明確な目的には非常に効果的ですが、障害復旧用には設計されていません。

OpenText™ Core Cloud-to-Cloud Backup は、Google Workspace などの SaaS アプリケーション向けの包括的なバックアップおよびリカバリ機能を備えています。また、一元管理、きめ細かな復元、迅速なリカバリ、柔軟な保存オプションも提供します。この専用バックアップソリューションにより、IT 管理者は必要なだけの SaaS アプリケーションデータを復元することができます。

## 特長

バックアップ：Google Workspace を包括的に保護

- Gmail™、共有ドライブ、プライベートドライブ、カレンダー、連絡先、タスク、メタデータを含む、Google Workspace の全データの日次バックアップを自動化
- 要求に応じて 3 倍のバックアップ頻度
- 地域の規制に準拠するための独自の AWS™/Azure® ストレージへの BYOS バックアップ
- オンデマンドバックアップ
- 単一リポジトリのバックアップ
- ユーザーによる手動および / または自動アクティベーション
- バックアップを一時停止し、非アクティブアカウントをエクスポートする機能により、ライセンスコストを削減し、オン / オフボーディングを容易に実行
- 削除されたユーザーの自動アーカイブ、およびユーザー定義の日数経過後にバックアップを削除するオプションにより、規制要件に準拠



「管理者は、ユーザーがゴミ箱を空にしてから 25 日以内であれば、Google ドライブから削除されたアイテムを復元することができます。その期間を過ぎると、Google はシステムからデータを消去します。」 [Google Workspace 管理者ヘルプ](#)

## リカバリ：無制限の柔軟なデータオプション

- 履歴スナップショット / バージョンによる無制限のポイントインタイム復元
- 日付、添付ファイル、キーワードによる、スマートできめ細かな階層型のキーワード復元
- クロスユーザー復元
- データの復元時に、ドキュメントのディレクトリ構造、ネストされたフォルダー、メタデータ、共有権限を使用して、元の状態を完全に保持
- 中断のない復元、またはインプレース復元
- アーカイブを ZIP 形式で独自のストレージにエクスポート、または S3、Azure、Box、Dropbox ストレージに直接エクスポート

## セキュリティ：監査に対応した厳格な資格情報

- Google Workspace のダウンタイム時に高可用性を実現するための Amazon S3 データストレージのセキュリティ保護
- ISO 27001、HIPAA、GDPR に準拠
- 多要素認証 (MFA) のサポート
- 保存時の AES-256 データ暗号化と転送中の HTTPS 暗号化
- ランサムウェアリカバリのための不変ストレージオブジェクトロック (オプション)
- 削除されたバックアップに対する 7 日間のリカバリ猶予期間
- 99.9% のアップタイム / 可用性 SLA

## ユーザビリティ：直感的な UX と高度なユーザー管理

- すべての SaaS プラットフォーム (Google Workspace、Salesforce®、Microsoft 365®、Box、Dropbox) をバックアップするための単一のダッシュボード
- チュートリアルビデオ付きの専用カスタマーサポートハブ
- すぐに使用できるセットアップと保守にかかる労力の削減
- すべてのエクスポート、復元、バックアップのドリルダウンビューを備えたフィルタリング可能な監査ログとアクティビティログ
- 日次バックアップのサマリレポートと、トラブルシューティング用リンクをインラインに埋め込んだバックアップ例外に関する電子メールアラート

## 製品仕様

**バックアップの範囲** Gmail、プライベートドライブ、共有ドライブ、カレンダー、連絡先、タスク、メタデータを含む

**バックアップストレージ**

- AWS S3 ストレージ
- BYOS：AWS、Azure、AWS S3 互換ストレージのバックアップ

**維持** 無制限—カスタム構成が利用可能

**互換性** すべての Google Workspace プラン

**バックアップの時間と頻度**

- 毎日 0:00 UTC (デフォルト)、またはユーザー指定の時間にバックアップ
- 要求に応じて 1 日 3 回のバックアップ

**バックアップデータセンターのロケーション**

- アジア太平洋：オーストラリア、インド、日本
- ヨーロッパ：フランス、ドイツ、アイルランド、英国
- 北米：カナダおよび米国
- 南アフリカ

OpenText Core Cloud-to-Cloud Backup は、強力なサイバーレジリエンス戦略の一環であり、組織がサイバー攻撃や偶発的なデータ損失に耐え、迅速に復旧できるようサポートします。OpenText のセキュリティおよびバックアップソリューションは、サイバーセキュリティをシンプルにします。

詳細情報： [OpenText Cloud-to-Cloud Backup](#) >